

## 令和 5年 9月「月報」

### 1 はじめに

9月の時候の挨拶には「秋涼の候」「初秋の候」「秋風が心地よい季節になりました。」などをよく使った記憶がありますが、近年、それらが使いづらくなり・・・ありました・・・インターネットで検索してみましたら「秋涼とは名ばかりの残暑厳しい今日この頃。」という表現が見つかりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか？

夏休み期間中を焦点とした「サマキャン」をはじめ、各地で再開された駐屯地・基地での行事などを通じて募集協力活動に頑張ってください、有難うございます。

さて、「おやぼと8月号」記事にありましたが、今年2月に設置された「人的基盤の強化に関する有識者検討会」が7月にまとめた報告書は冒頭で、人材の確保を「装備品等の強化と並び、防衛力の抜本的強化を支える車の両輪」と位置付けています。平成5年版防衛白書冒頭で浜田防衛大臣は「どれだけ高度な装備品を揃えたところで、それを扱う「人」がいなければ防衛力は発揮できません。」と述べています。

自衛隊員は防衛力の中核です。

募集対象者人口の減少という厳しい採用環境にあっても、優秀な人材を確保すべく、募集協力活動、引き続きよろしく申し上げます。

#### 【トピック】

パリオリンピックまであと1年。現在のところ自衛隊からは柔道女子70キロ級の新添左季さん（奈良県橿原市出身）が代表内定と発表されています。今後、ボクシング、競泳、レスリング、近代5種等、活躍が期待されます。応援よろしく申し上げます。

### 2 防衛省・自衛隊の活動（写真は各幕HP等より）

#### （1）日仏共同訓練

陸上自衛隊は、9月10日（日）から9月29日（金）の間、仏領ニューカレドニアにおいて、東北方面総監梶原陸将を担任官として、第5普通科連隊等が参加し、仏陸軍との実動訓練（ブリュネ・タカモリ23）を実施し、対ゲリラ・コマンドウ作戦に係る作戦遂行能力及び戦術技量の向上を図るとともに、陸自と仏陸軍との相互理解・信頼関係を強化します。

海上自衛隊は、8月10日（木）、ニューカレドニア周辺海空域において、海自の戦術技量の向上と、海自と仏領ニューカレドニア駐留仏軍との連携の強化を目的に、ニューカレドニア駐留仏軍と共同訓練（オグリヴェルニー23-4）を実施しました。（写真は仏哨戒艦オーガスト・ベネビグ（奥）と輸送艦しもきた（手前））



航空自衛隊は、7月26日（水）から28日（金）までの間、新田原基地において、航空自衛隊の戦術技量の向上及び相互理解の促進を図ることを目的に、国内で実施する空自と仏航空宇宙軍との初の共同訓練を実施しました。



本訓練の実施に合わせて、仏航空宇宙軍参謀長のミル大将が来日され、内倉航空幕僚長と会談等を行い、訓練を視察されました。

共同訓練や交流を重ねることにより、「自由で開かれたインド太平洋」（FOIP）の実現のため、フランスのみならず他の欧州国によるインド太平洋地域へ関与を促進する、意義あるものです。

## （2）災害派遣

ア 沖縄県：台風第6号の影響により沖縄県・周辺離島において、停電・通信障害・衛生物資の不足が発生し、沖縄県の伊是名（いぜな）村における停電・通信障害の復旧にあたる電力・通信会社の人員・資器材の空輸及び伊平屋（いへや）村への衛生物資の輸送が自治体のみでは困難であることから、8月7日（月）、沖縄県知事から航空自衛隊南西航空



方面隊司令官（那覇・沖縄県那覇市）に対し、伊是名村及び伊平屋村への人員・物資の空輸に係る災害派遣要請がありました。

同日、航空自衛隊那覇ヘリコプター空輸隊の

CH-47×1機により、電力・通信会社の人員・物資を空輸しました。

イ 8月28日（月）、兵庫県西脇市内の老朽化した水道管の取替工事において水道管内の錆や汚れが流出し、市内の約6,700世帯で水道水に濁りが発生しました。

西脇市からの依頼により、陸上自衛隊第8高射特科群（青野原駐屯地・兵庫県小野市）が給水支援を実施しました。



### 3 家族会の活動

#### (1) 国連南スーダン共和国ミッション（UNMISS）派遣隊員を激励

8月9日、自衛隊家族会は、防衛省においてUNMISS司令部要員の永山3等陸佐と鶴野3等陸佐を激励しました。情報幕僚の永山3佐は、情勢に係る情報資料の収集・整理・配布及びデータベース整理に係る業務を、施設幕僚の鶴野3佐はUNMISSの活動に必要な施設の配置・維持・補修に係る企画調整を実施します。



今井事務局員 永山3佐  
阿部事務局員 鶴野3佐

#### (2) 令和5年度防衛講演会（和歌山）



9月2日（土）和歌山市の和歌山JAビルを会場に、公益社団法人隊友会協賛、防衛省、和歌山県隊友会、和歌山県防衛協会の後援による防衛講演会を開催しました。

新型コロナの影響で中止が続いていたところ、講師に高田克樹元陸上総隊司令官を迎え「ウクライナ、台湾そして日本」と題した講演に、美浜町長、印南町長をはじめ155

名の聴衆が熱心に聞き入っていました。

#### (3) 沖縄県家族会主催で防衛講話

7月30日（日）、久々の家族会活動の一環として「沖縄地本部長をお迎えし防衛講話」を実施しました。実施にあたって隊友会にお声がけしたところ、大勢の方たちが参加してくださり、「大変良かった」との声を聴き大好評でした。

防衛講話終了後、家族会のみで6月13日に市ヶ谷で実施した定期総会の報告や、「会員増大、北方領土返還要求、家族会の活動、行事参加、研修等」について話し合いました。



沖縄地本長 久保陸将補の講話

#### (4) 北海道地域協議会開催



8月29日（火）札幌市において北海道地域協議会を開催しました。札幌、道北、道東、道央の各家族会代表及び理事が参加するとともに、増田自衛隊家族会会長、田浦地域担当委員、北部方面総監部からは

募集課長、厚生課長等が出席し、本部委託テーマ「家族支援協力態勢の整備」及び「会勢の維持・拡大について」をテーマに意見を交換しました。懇親会には北部方面総監以下の現役の方々や隊友会会長等にも参加いただき、交流を深めました。

#### (5) 鹿屋市自衛隊家族会が航空自衛隊高畑山分屯基地を研修



8月2日(水)鹿屋市自衛隊家族会は、宮崎県串間市の航空自衛隊高畑山分屯基地(司令・中嶋明2等空佐)の研修を実施しました。研修開始に先立ち石川会長が中嶋司令に挨拶した際、中嶋司令からは、研修歓迎の挨拶の後、高畑山分屯基地の役割や任務等を理解してもらいたい事、又、隊員の募集が困難な状況にあるため、隊員の募集広報に協力してもら

いたいといった趣旨の話がありました。

研修は石川会長以下理事や会員等総勢34名の参加で午前10時から開始され、参加者は、基地の沿革や施設等の説明を受けた後、基地内の施設や装備品等を見て回り、その都度質問したり写真を撮ったりして真剣に研修に取り組んでいました。



研修終了後は、待望の隊員食堂での昼食となり、宮崎名物のチキン南蛮と冷や汁に、「美味しい、美味しい、食べきれない」などと話しながら舌鼓を打っていました。

食事後、基地内売店でお土産を買うなどしてくつろいだ後、中嶋司令をはじめ隊員に見送られながら、本研修にとっても満足し、基地を後にしました。

#### (6) 千僧駐屯地納涼行事で募集活動を応援

8月8日(火曜日)、千僧駐屯地で開催された納涼行事に伊丹自衛隊家族会もご招待いただき、高木会長、役員と会員の計6名で出席しました。

この日は千僧駐屯地以外にも青野原、信太山、八尾、明野、大久保、福知山の各駐屯地が納涼行事を実施というラッシュの日でしたが、第3師団長佐藤陸将、副師団長末田陸将補を中心に藤原伊丹市長、国会議員、国会議員、市会議員の皆様と自衛官、市民が一堂に集まって熱気溢れる大盛況のイベントになりました。伊丹自衛隊家族会では、兵庫地方協力本部伊丹地域事務所の紹介・募集ブースで事前に作成して持ち込んだ



当会オリジナル缶バッジを来場された対象者、お子様に配布しながら募集活動をお手伝いしました。

また、同席した伊丹駐屯地業務隊長茅野1等陸佐と、今後控える行事などに関して細かく意見交換できる場ともなりました。

## (7) 宝塚の市民フェスタで自衛隊をアピール

8月6日(日)、宝塚自衛隊家族会が、宝塚サマーフェスタの兵庫地方協力本部伊丹地域事務所の広報ブース隣で、自衛隊グッズの販売を行いました。宝塚自衛隊家族会としては初めてのチャレンジで、全部で20名ほどの小さな会ながら13名の会員が協力して、グッズ販売の傍らで、募集広報用のチラシやミニカードを配布して地域事務所の広報官をアシストしました。ステージでは太鼓隊の演奏が、ブースでは自衛隊のバイクや高機動車が、4年ぶりの宝塚市民のお祭りを盛り上げてくれていました。

自衛隊のグッズや乗り物は特に子供連れの方に人気でした。また地元市民からの自衛隊員への温かい励ましや期待の言葉や、参加した会員からの「初めての経験でしたが自分自身も楽しめて参加してよかったです。」との感想をもらい、当初の不安もどこかへ消え、やる事に意義があるのだなと実感した一日でした。

## (8) 七飯町自衛隊家族会が部隊研修

7月29日(土)、七飯(ななえ)町自衛隊家族会が航空自衛隊千歳基地で4年振りの部隊研修を行いました。

今回の研修は、自衛隊函館地方協力本部から千歳基地航空祭の前日予行の見学の提案を頂いて実現したもので、大変貴重な機会となりました。会員に案内したところ、16名が参加し、コロナ禍で途絶えていた部隊研修事業を復活させることができました。千歳基地での最大の目的はブルーインパルス展示飛行を観ることで、数日前から天気予報とにらめっこしながら、晴天になることを祈っておりました。

研修当日は幸い晴天で酷暑の中でしたが、基地格納庫の前で大迫力の展示飛行を観ることができ、会員一同歓声を上げながら楽しむことができました。

また、前日の宿泊場所では、参加者一同で夕食を取りながら歓談し、初めて参加した会員と役員との交流の時間は、大変有意義なものとなりました。



今後も、自らの子供達を含めた自衛官の皆さんを応援しながら、家族会の事業を充実したものにしていきたいと思えます。

## (9) 東京都家族会が新隊員教育の激励・見学会で逞しく成長した姿に感動

7月21日(金)、東京都自衛隊家族会は、東京地方協力本部のご支援をいただき、海上自衛隊横須賀教育隊(司令:遠藤1等海佐)の新隊員教育の見学会を行いました。東京・市ヶ谷を朝出発して10時に教育隊に到着。遠藤司令にご挨拶をいただいた後、手旗訓練の見学やダビット(小型のクレーン)での



短艇訓練の重要性などについての解説、海志館（男子隊舎）及び海桜館（女子隊舎）の居室などの見学を行い、楽しみにしていた体験喫食となりました。

当日は、新隊員課程を履修中の7名の保護者の方も参加し、隊員食堂に隣接する別室でご子女との昼食歓談の場を設けていただきました。金曜日とあって「教育隊の中では最も美味しい」といわれる大盛りのカレーを頬張る元気な姿に目を潤ませる方もいらっしゃいました。横須賀教育隊では、約70人の東京都出身の新隊員が履修中ですが、全ての東京都出身の隊員に会うことはできないことから、森山会長からの激励の手紙を司令から渡していただきました。食堂でお会いした新隊員皆さんの明るい笑顔と元気溢れる挨拶に逞しさと頼もしさを感じるとともに、コロナ禍明けを実感した見学会となりました。企画していただいた東京地方協力本部の皆様にご心より感謝申し上げます。

#### (10) 道央家族会千歳支部が第7師団の長距離機動訓練を激励

8月21日（月）、道央家族会千歳支部が、第7師団が23日まで実施した公道自走及び海上機動による長距離機動訓練を激励しました。この訓練は、機動展開能力を含む運用の実効性を向上させることを目的として、第71戦車連隊（連隊長 前田1陸佐）を基幹とする訓練部隊を編成し、装軌車16両、装輪車45両が参加しました。訓練部隊は、苫小牧港、室蘭港へ公道自走及びトレーラー輸送により機動し、PFI（民間資金等活用）船「ナッチャンWorld」に乗船、海上機動を行い、釧路港を経て、釧路市内を機動、釧路駐屯地までの長距離機動任務を完遂しました。



### 4 事務局からの連絡

#### (1) 新任会長・事務局長等研修会の予定

新たに各県家族会の会長・事務局長に就任された方々に、自衛隊家族会に係る理解を深めていただき、本部と県家族会との連携を密にして円滑に運営してゆくために「新任会長・事務局長等研修会」を10月5日（木）東京都新宿区戸塚地域センター（高田馬場）において実施する予定です。

該当者及び該当者所属県家族会長へは実施の細部を通知(7月)したところです。

出席者は参加にあたり、「活動の手引」をご一読いただけますと、有難く存じます。

#### (2) 防衛講演会のお知らせ

和歌山県防衛講演会は9月2日(土)に実施に好評のうちに終了いたしました。

栃木県防衛講演会は11月19日(日)、栃木県鹿沼市「ニューサンピア栃木」にて10:00~12:00の間、講師高田克樹氏(元陸上総隊司令官)により和歌山県防衛講演会と同様「ウクライナ、台湾そして日本」と題して講演を行います。

(3) ボランティア保険料の支払いについて

令和4年10月から更新したボランティア保険が令和5年9月末で満期(1年)を迎えます。各県家族会の保険料支払いにつきましては、事務局からの「保険料請求のご案内」が、お手元に届き、確認を頂いた後に10月~12月の間に支払いをお願いします。

(4) 各種希望数の確認について

下記について要望数をそれぞれの時期までに事務局業務担当の今井へご連絡下さい。

ア 入校・入隊者激励会用「おやばと」(無償配布)

入校・入隊者激励会用「おやばと2月号」希望数を**11月30日(木)**まで

イ 北方領土返還要求署名用紙

令和6年度希望数を **11月30日(木)** まで

(5) 令和5年度「活動状況等調査」の提出について

既に家族会本第19号(令和5年4月14日)にて**令和5年11月1日(水)**を提出期限としてお願いしております。あと2か月余りですが、提出の程よろしくお願い致します。

(6) 防衛情報紙「おやばと」への記事投稿に当たってのお願い

各県等自衛隊家族会におかれましては、防衛情報紙「おやばと」にご投稿いただき、誠に有難うございます。ご投稿は、お気軽に、普段の活動を自信をもってご投稿ください。掲載されれば会員の励みになります。

記事の長さは、約400字から約500字程度の文章でお願いいたします。

具体的な記事の書き方、投稿については、自衛隊家族会の「活動の手引き」の12頁から14頁を参考にしてください。作成のコツ、見出し、写真等についても具体的に記述しています。皆さまからのご投稿をお待ち申し上げます。

「おやばと」担当者より。

※「活動の手引き」は、自衛隊家族会のHPからもご覧になれます。

以下のURL、または右のQRコードからアクセスしてください。

<http://www.jkazokukai.or.jp/700-Kaiin/KatudouTebiki.pdf>



(7) おやばと拡販新ステップアップ作戦

5月「月報」でもお知らせしましたが、令和5年度は「おやばと拡販新ステップアップ作戦」の1年目です。各県家族会が自らの判断で5年度の目標とともに3年後の目標についてもあわせて設定し、5月13日までに本部に提出するようお願いしています。6月の定期総会で各県家族会の目標を披露したところですが、23個県家族会から目標が提出されておられません。お忘れなきようお願いします。

趣旨等、詳しいことは「令和5年度自衛隊家族会事業計画/別紙第1」をご覧ください。